

令和8年度 学校だより



りんごの里から 6月号

青森県立弘前第一養護学校 令和8年6月23日発行 高等部教頭 加福千佳子

今年も頑張ります「新チーム弘一養」！

着任2年目となりました、高等部校舎教頭の加福千佳子と申します。今年度も児童生徒246名、職員137名、保護者のみなさま、地域関係者のみなさまと一緒に、令和8年度「新チーム弘一養」を盛り上げていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。「新チーム弘一養」タイトルは、先月号の相坂教頭先生の学校だよりからいただきました。本校には教頭が二人いますので、♪ 倍 FIGHT 倍倍 FIGHT 倍倍倍 FIGHT ♪ 息を合わせ、力を合わせて頑張ります。

今年は春の訪れが早く、通勤路に咲く追手門外堀の桜が早く咲き、なごむ期間が短く葉桜となったような気がします。東北の四季（季節の彩り）をゆっくり楽しめなくなってきたと感じるこの頃です。が、校内では、新しい制服を着た1年生が入学してきてその賑わいに春を感じ、6月1日から衣替えをして、ワイシャツ姿、夏服姿が陽を浴びて夏の訪れを感じました。今年も、学校行事や生徒たちの様々な活動に触れながら、「季節」の移り変わりを楽しみたいと思います。

～高等部校舎 6月の彩り～



〔校舎庭の花壇に咲くお花〕

さて、高等部の6月といえば、校内実習（1年）、前期産業現場等における実習（2、3年）があります。2週間、それぞれの場所で、自分の掲げた目標を達成するべく頑張っています。実習前に「実習がんばろう会」が行われました。一人ひとり、みんなの前で自分の実習先と目標を発表しました。中でも3年生は内容を暗記し、まっすぐ前を向いて大きな声で発表していました。自分の行動への責任、来春には進路を決める覚悟が伝わってきました。私からは、私もワクワク、ドキドキしていること。そして、みんなに共通して「体調を整えて臨むこと」「分からないことは自分から聞くこと」「報告・連絡・相談をすること」を守り、いろいろなことに挑戦し、経験してきてほしいと伝えました。また、こどもたちが2週間いつもと違う環境で働くためには、ご家族の方々のご理解、ご協力があることです。疲れて帰るこどもたちを励まし、背中を押し、実習先によっては毎日のお弁当の準備もしていただきました。感謝申し上げます。そして、先生方もまた、それぞれの実習先に何度も出向き、様子を伺い、励ましてきました。実習先から戻ってくる先生方のうれしそうな表情は、来週学校に戻ってくる生徒たちの達成感のある表情、態度につながっているでしょう。10月には後期の実習があります。1年生も現場実習です。私のワクワクは続きます。

みんな頑張れ～ !(^~^)!